

立命館生協(OIC) Social Issues Festival



[社会的課題]

取り組み概要

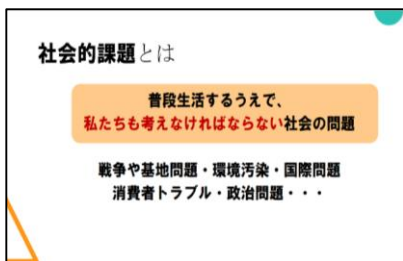
日時：6月20日(日)
場所：zoom 参加者数：学生委員約50人
概要：学生委員会が「社会的課題」に取り組む意義を知り、それらについて考える為、部内でセミナーを開催した。

- 内容：①私たちが社会的課題に取り組む意義
②アイスブレイキング
③環境チーム「3RとRefuse」
④消費者チーム「エシカル消費について」
⑤社会参画チーム「ジェンダーについて」
⑥ちょっと気にボード作成

社会的課題を自分事として捉える

POINT.1

「社会的課題」に取り組む意義



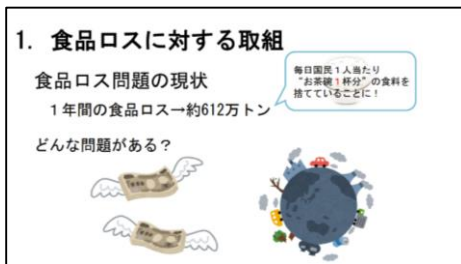
今回のSocialIssuesFestival(以下ソーフェス)では、社会的課題について学ぶだけでなく、「なぜ社会的課題の活動を学生委員会が行うのか」という「意義」の部分もしっかりと提起されています！

社会的課題があると、「より良い生活」を目指せないという観点から、「積極的組合員」である学生委員が、社会的課題に取り組むことで、「社会的課題への関心を高めたり、課題事自体を活性化することができる」と企画長からの提起がありました！

POINT.2

自分事として捉える

今回のソーフェスを作る際に意識したのが、「社会的課題を「自分事」として捉えてもらう」という事でした。「環境問題」や「ジェンダー」など、普段の生活の中で深く考える機会が少なく、「自分には関係のない話」として、目を向けることがあまり無いため、「自分の生活」と「社会的課題」がどのように関連しているかを交えながら発表しました！参加した学生委員からは「社会的課題が自分に近いものだ」と知れて良かった」といった感想がありました！



POINT.3

学びから行動へ



他にも、提起の中で工夫されていたのが「参加者が考えて、すぐ行動に移せるような提案」が為されていた点です。

環境チームの発表では、フードロスを減らす「エコレシピ」や「マイボトルスポット」の紹介。消費者チームの発表では「エシカル消費」が紹介され、参加者自身の「行動」に繋がるよう工夫されていました！

最後の時間には、ジャムボードを使い、発表を聞いて気になったことを参加者が自ら調べて深める「ちょっと気にボード」の作成が行われました！参加者自身が主体的に社会的課題と関わっている工夫が詰め込まれた素晴らしい取り組みでした！

